



# JFE システムズ 株式会社

## Disclosure Report

株主の  
みなさまへ

2011年度ご報告

2011年4月1日—2012年3月31日



(東京スカイツリーをバックに当社本社ビルをのぞむ)

## 中期計画1年目は 経常利益前期比倍増を達成。 中期目標を見据えて引き続き 構造改革を推進します。

2011年度の決算をふまえ、  
今後のJFEシステムズの取り組みについて  
代表取締役社長の菊川がお答えします。



**Q** 2011年度の業績を、どのように評価しますか？

**A** 中期計画の初年度として順調なスタート

2011年度は東日本大震災の影響に加え、円高や欧州の財政不安などにより、先行き不透明な状況が続いた一年でした。このような中で、当社は昨年4月に株式会社エクサから鉄鋼事業を承継するとともに、新たな中期経営計画(2011～2014年度)をスタートさせました。今期は中期計画の1年目として、受注力の強化、収益体質の強化、中長期的な競争力の強化を柱に、様々な対策に取り組んでまいりました。これらの活動により、事業承継によるJFEスチールグループ向けの売上増に加え、金融、製造業の主要顧客向けSI(※1)事業、及び電子帳票システムを始めとするプロダクト事業において収益が向上し、経常利益は前期比倍増の841百万円となりました。中期計画初年度として順調なスタートを切ることができ、取り組みへの手ごたえを感じています。

**Q** 中期計画の取り組みへの「手ごたえ」とは、  
具体的にはどのような点ですか？

**A** 受注力強化と収益体質強化への取り組みに手ごたえ

**エクサ統合を機に厚みを増した人材で、中期成長施策を推進中**

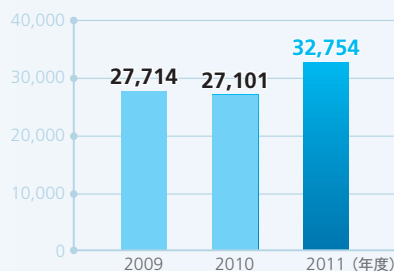
受注力強化に関しては、大手既存顧客向けで、特に自動車メーカーのお客様に重点的にアプローチし、顧客内でのシェア拡大を果たすことができました。また、グローバル化を進めるお客様のニーズに対応して、ERP(※2)やSCM(※3)などのソリューションを増強し、新規案件の受注拡大につなげています。

収益体質の強化に関しては、昨年4月の組織改正で、ビジネス

## ▶▶▶▶ 連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights

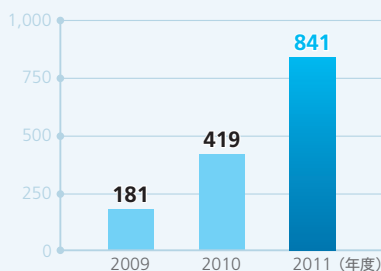
売上高

単位：百万円



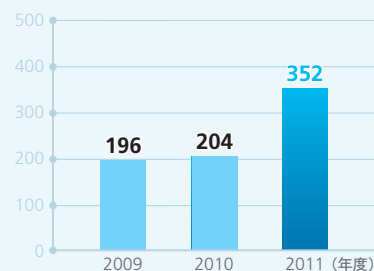
経常利益

単位：百万円



当期純利益

単位：百万円



ユニットごとに収益を管理する仕組みを整え、事業ごとの目標と責任をより明確にするとともに、月次決算の時期を早め、損益管理のPDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルの迅速化を図りました。これらの取り組みが、それぞれの事業の状況に応じた素早いアクションを促し、収益体質の強化に結びつきました。

中長期的な競争力強化に向けては、株式会社エクサからの事業承継により多数の経験豊富な人材が加わり、人材層の厚みが増しました。これを活かすべく、計画的なローテーションや教育の強化により、上流人材の更なる拡充を進めています。また新ソリューションの創出やビジネスモデルの転換など、中長期視点での成長戦略テーマに取り組み、成果を出しつつあります。

### Q 2012年度は、どのような取り組みを進めていきますか？

#### A お客様の課題解決への提案ができる上流人材の育成に努め、更なる競争力強化と収益向上を目指す

情報サービス業界は、リーマンショック以降の長い停滞から脱し、プラス成長への兆しが見えつつあります。このような環境の中で、2012年度は中期計画の2年目として、競争力強化のための取り組みを継続し、SI顧客基盤の強化・拡大と、自社開発商品の展開を中心としたプロダクト事業の更なる成長を目指します。

鉄鋼事業統合に関しては、2011年度は融合・一体化を進め、当初想定した以上の成果を出すことができました。2012年度は、これを更に推し進め、鉄鋼品種ごとの全社横断的な活動を立ち上げるなど、更なる生産性向上や人材の有効活用を図りたいと考えています。当社の競争力の源泉である、鉄鋼業で育った「上流人

材」を外販事業でも積極的に活用し、中期計画の施策遂行と収益向上につなげてまいります。

### Q 株主の皆様に対して、メッセージをお願いします。

A 当社グループの強みは、情報システムの先進的なユーザーとして培われた、常に顧客視点で最善を尽くす姿勢にあります。先行き不透明な時代において、顧客の真の課題は何かを追求し、ITを通じて変革を支援し、信頼を勝ち得ていくことが当社グループの存立基盤であり、今後も大切に維持していきたいと考えています。この姿勢を基本に事業を展開し、中期計画に沿った業績向上を果たすことにより、株主の皆様のご期待に応じていく所存であります。

株主の皆様におかれましては、当社の取り組みについてご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

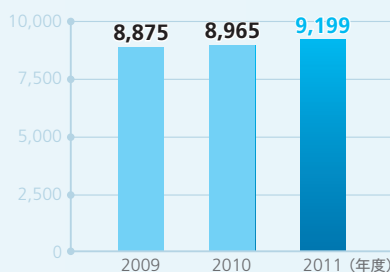
代表取締役社長

菊川 裕幸

- ※1 SI System Integration(システムインテグレーション)。情報システムの企画から構築、運用までを一括して提供するサービス。
- ※2 ERP Enterprise Resource Planning(イールピー)。経理、生産管理、販売管理、人事管理などの基幹業務を個別に行うのではなく、コンピュータ・システムを使って相互に連携させ、全体最適化を実現すること。ERPの実現に必要な機能をあらかじめ備えたソフトウェア群をERPパッケージと呼ぶ。
- ※3 SCM Supply Chain Management(サプライチェーン・マネジメント)。メーカーから消費者の手に渡るまでの製造・販売・物流の全過程の情報を的確に把握し、製品の流れの効率化を図り、在庫のミニマム化など、無駄を極力無くしてプロセスの最適化を図る管理手法。

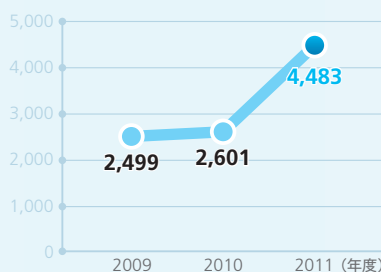
純資産

単位：百万円



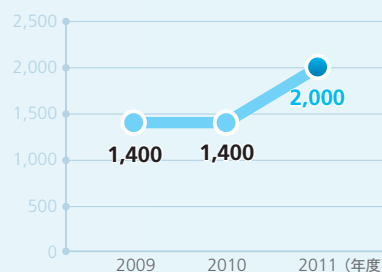
1株当たり当期純利益

単位：円



1株当たり配当金

単位：円



## 2011年度 実績

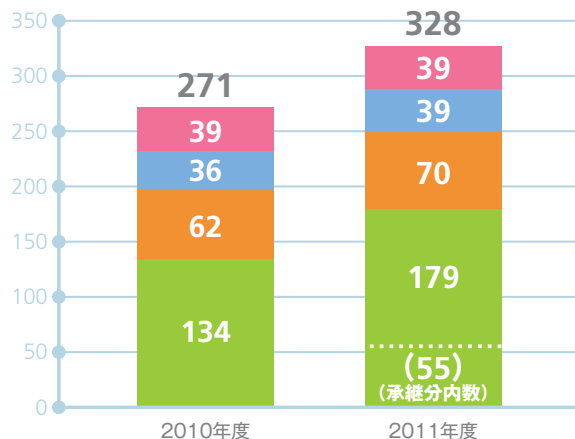
- 鉄鋼事業統合と外販事業の拡大により  
57億円の増収を達成。  
経常利益は4.2億円から8.4億円に倍増。

## 2012年度 見通し

- 鉄鋼のIT投資は不透明であり  
減収が見込まれるが  
外販の構造改革を更に推進し  
前期を上回る利益水準を確保。

### 2011年度売上高実績(連結)

単位：億円



■ 連結子会社寄与分      ■ 一般顧客向けSI事業  
■ プロダクト・ソリューション事業      ■ 鉄鋼向け事業

#### プロダクト・ ソリューション事業

原価採算管理や電子帳票ソリューションなどが堅調に推移し、増収を達成

#### 一般顧客向け SI事業

製造流通向けや金融向けで増収

#### 鉄鋼向け事業

事業統合に伴う規模拡大により大幅に増収

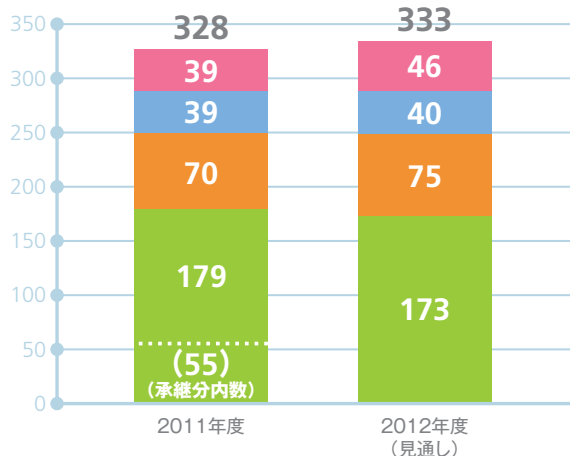
#### 鉄鋼向け事業

JFEスチールおよびそのグループ会社向けアプリケーションシステムの企画・開発・維持を行っています。



## 2012年度売上高見通し(連結)

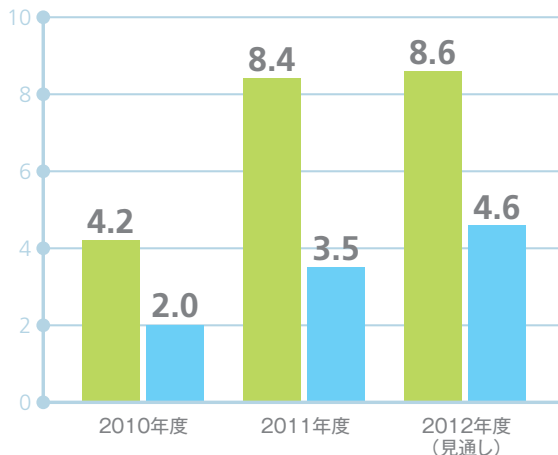
単位：億円



■ 連結子会社寄与分 ■ 一般顧客向けSI事業  
■ プロダクト・ソリューション事業 ■ 鉄鋼向け事業

## 2011年度利益実績および 2012年度利益見通し(連結)

単位：億円



■ 経常利益 ■ 当期純利益

### プロダクト・ソリューション事業

自社開発商品の市場拡大と競争力強化を図り更なる成長を目指す

### 一般顧客向けSI事業

既存顧客内における領域の拡大と新規開拓  
金融は提案型ビジネスへの改革を推進

### 鉄鋼向け事業

JFEスチールのIT投資動向は不透明であり減収を見込む

### 2011年度 経常利益実績

鉄鋼事業承継による増益や外販事業の構造改革により前期比倍増の収益を達成

### 2012年度 経常利益見通し

鉄鋼事業の減収を見込むものの外販の構造改革を更に推進し前期を上回る利益水準を確保

### 一般顧客向けSI事業

各業種・分野の業務システムを対象とし、顧客の多様な業務ニーズに対応したSIを行っています。

### プロダクト・ソリューション事業

自社開発および他社より導入したソフトウェアの開発、販売およびそれらを適用したSIを行っています。

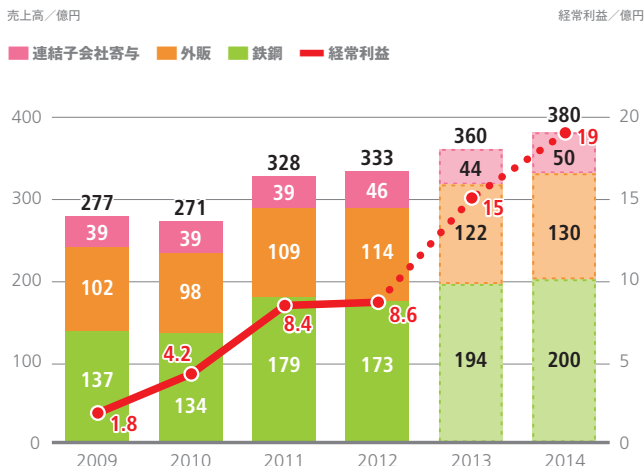
## 中期計画の目標と重点課題

### 中期目標 2014年度

売上高 ▶ **380億円** 経常利益率 ▶ **5.0%**

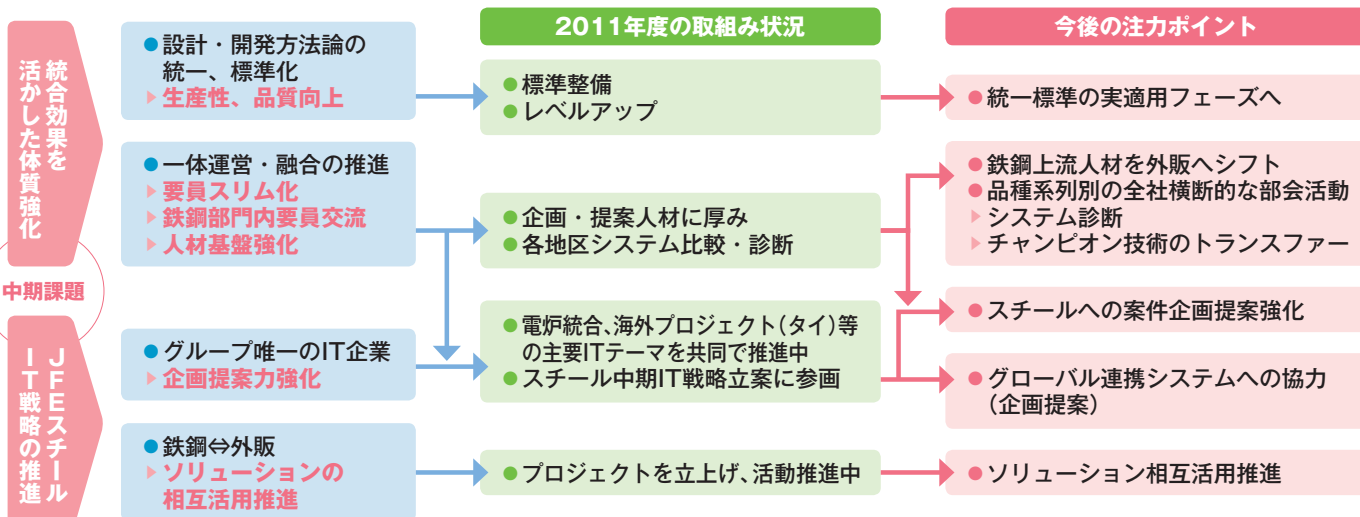
### 中期重点課題

- 課題1 鉄鋼事業統合を梃子にした収益拡大
- 課題2 SI顧客基盤の強化・拡大
- 課題3 プロダクト事業の更なる成長
- 課題4 上流人材の育成・増強



## 課題1 鉄鋼事業統合を梃子にした収益拡大

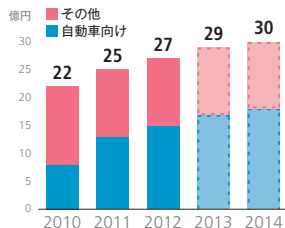
### 統合効果を活用し、体質強化とIT化企画提案の拡大を推進



## 課題2 SI顧客基盤の強化・拡大

### 既存重点顧客における領域拡大と新規顧客開拓により、事業基盤を拡大

#### 製造流通・重点顧客売上推移



- 既存担当領域で定着した信頼感をベースに、企画構想フェーズから参画
- 顧客の要請に的確かつ迅速に対応

大手自動車メーカーを中心に  
新規案件を獲得

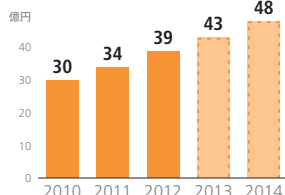
安定顧客基盤構築による収益向上・安定化

重点顧客における  
領域拡大

中期課題

新規開拓  
(グローバルSCM等)

#### 製造流通・新規開拓売上推移



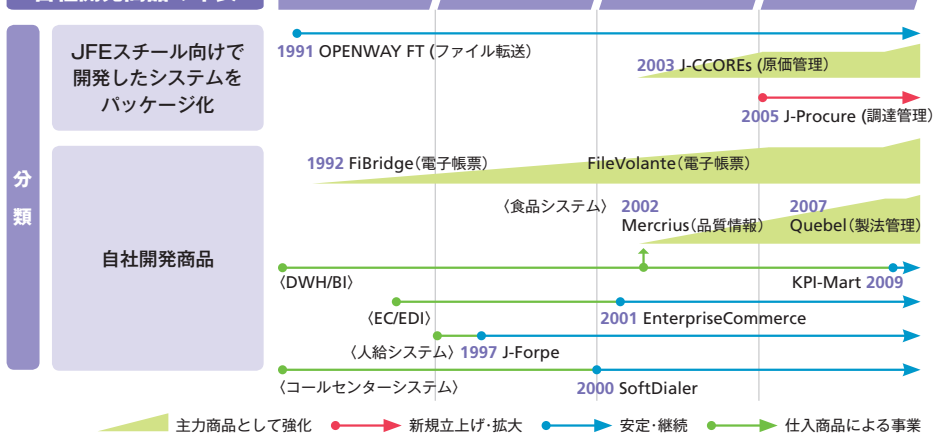
- 「ローコストERP」、「グローバルSCM」に対応したソリューションを整備
- 原価、BI、EC等実績のある自社固有ソリューションと組合わせて提案

グローバル展開を行う  
顧客からの案件が増加

## 課題3 プロダクト事業の更なる成長

### 自社開発商品の市場拡大と競争力の強化により更なる成長を目指す

#### 自社開発商品の年表



## 課題4

### 上流人材の育成・増強

#### 事業推進の核となる 上流技術者を育成・増強

統合⇒上流人材に厚み

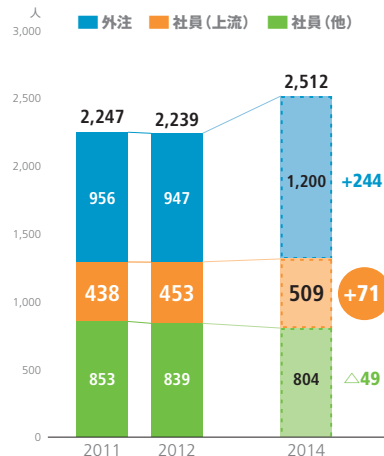
コンサル・プロマネ人材育成

重点ソリューション人材育成  
ERP、SCM、最適化等

グローバル人材育成

コア技術者として事業を牽引

#### 社員/外注要員推移 (単体ベース)



# 2011

4月

5月

6月

7月

8月

9月



## 1 (株)エクサより鉄鋼向け事業承継

事業承継に伴い、(株)エクサから311名が移籍。4月1日、新しい仲間を迎え、新生JFEシステムズの発足式を行いました。

## 2 第22回 設計・製造ソリューション展

製造業向けの需要予測、需給調整、在庫最適化から販売管理、生産管理、原価管理までをトータルでサポートする見える化・最適化ソリューションを出展しました。

## 3 JFE-SIフォーラム2011開催

7月15日、「新生JFEシステムズの事業戦略」をテーマに社員フォーラムを開催しました。講演会場と各事業所でのネット視聴で、600名の社員が参加し、会社の進む方向を共有する良い機会となりました。

## 4 MerQurius販売開始

商品の品質情報(配合、原料・包材規格など)と食品法規データなどを統合管理するデータマネジメント・ソリューション『MerQurius (メルクリウス)』の販売を開始しました。

## 4月・(株)エクサより鉄鋼向け事業承継(311名移籍) 1

- 2011年度入社式(14名入社)

## 6月・第28回定時株主総会【開催】

- 東芝インフォメーションシステムズ(株)様より2011年度ゴールドパートナー認定
- 日本テラデータ(株)様とSAP® ERPデータの有効活用で協業

## 第22回 設計・製造ソリューション展【出展】 2

## 7月・JFE-SIフォーラム2011 3

## 10月・食の情報開示をリードする次世代統合データマネジメント・ソリューション『MerQurius』を販売開始 4

- マツダ(株)様より2010~2011年度期待されるパートナーとして選定
- プライバシーマーク制度® 貢献事業者表彰を受賞

## 11月・MerQuriusユーザコンファレンス2011【開催】



10月

11月

12月

1月

2月

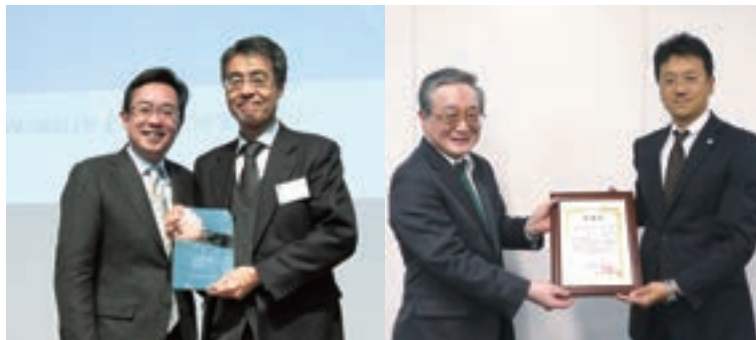
3月

2012



### 5 『ITによる業務変革の「正攻法」 JFEスチールの挑戦』

JFEスチールのITによる業務改革の取組みが紹介され、当社がJFEスチールと共同で構築に携った「新統合システム(J-Smile)」の開発手法と成果とともに、J-Smileを起点として継続してきた改革の内容がまとめられ、日経BP社より刊行されました。



### 6 SAP AWARD OF EXCELLENCE 2012

SAPジャパン(株)様主催のコンベンションで、SAPビジネスへの貢献度などで極めて高い評価を得た企業に授与される「プロジェクト・アワード」を昨年に引き続き受賞しました。

### 7 日立オープンミドルウェア テクニカルアワード2012

(株)日立製作所様主催のコンベンションで、日立オープンミドルウェアの豊富な知識と高い技術力を持ち、顧客満足に尽くした企業に授与される「Alliance賞」を受賞しました。



### ▲ 東京スカイツリーから本社を望む

2012年5月に開業した東京スカイツリーから1km南、オリナスタワー17階に当社本社があります。

12月 ・ 日興アイ・アール(株)様主催「2011年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」にて“優良サイト”を受賞

・ 『ITによる業務変革の「正攻法」  
JFEスチールの挑戦』が日経BP社より刊行 **5**

1月 ・ SAPジャパン(株)様と連携し、SAP®のBI製品でJFEスチールの情報活用基盤を刷新

・ JFEグループ会社向けエグゼクティブセミナー【開催】

2月 ・ SAPジャパン(株)様主催「SAP AWARD OF EXCELLENCE 2012」プロジェクト・アワードを受賞 **6**

3月 ・ (株)日立製作所様主催「日立オープンミドルウェア テクニカルアワード2012」CosminexusアワードAlliance賞を受賞 **7**

4月 ・ 2012年度入社式(51名入社)

・ JFEグループ電炉4社(JFE条鋼、ダイワスチール、東北スチール、豊平製鋼)システム統合対応

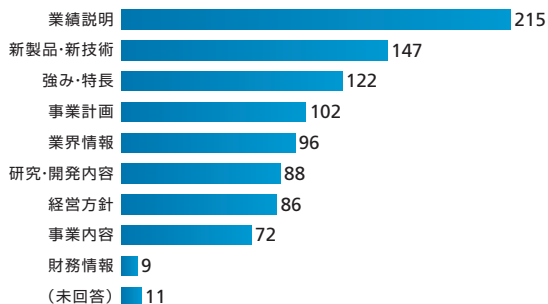
・ JFEシステムズの「KPIMart」がSAPジャパンソリューション導入パッケージに認定

・ 社内講演会2012(ITによる業務改革)

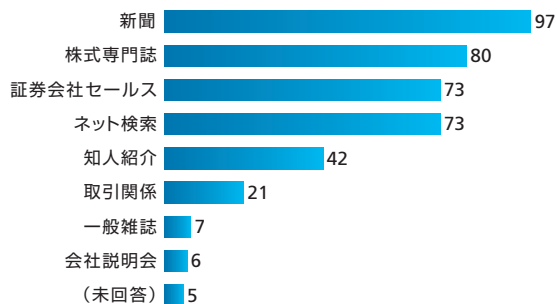
# 株主アンケート 結果報告

2011年度上期ご報告に同封いたしました株主アンケートに対し、多くのご回答をいただきました。皆様からいただきましたご意見、ご提案などは今後の当社の事業ならびにIR活動に反映させてまいりたいと存じます。ご協力ありがとうございました。

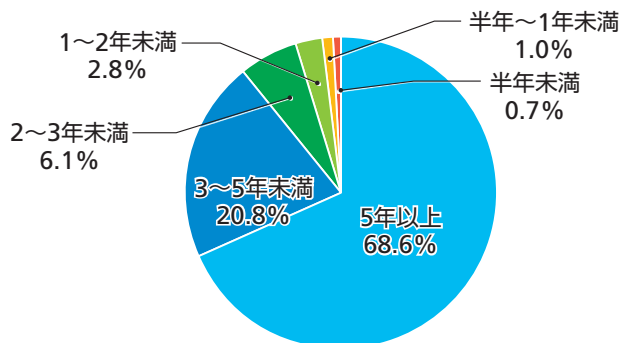
## 当社のどのような情報をお知りになりたいですか？



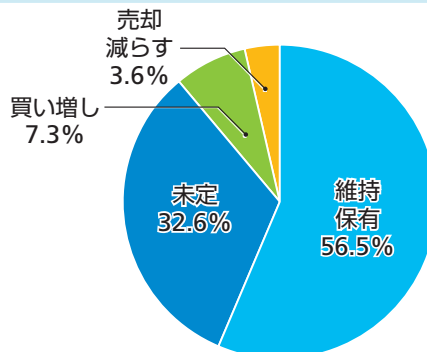
## 当社をお知りになったきっかけは何ですか？



## 当社株式保有期間



## 今後の当社株式保有のご予定についてお聞かせください。



## 会社の概要

名称(商号)  
JFEシステムズ株式会社  
JFE Systems, Inc.  
本社所在地  
〒130-0012  
東京都墨田区太平四丁目1番3号  
電話 03-5637-2100(代表)

設立  
1983年9月1日

資本金  
1,390,957千円

主な事業内容  
情報システムのインテグレーション  
および運用・保守など

従業員数  
1,821名

子会社の状況  
KITシステムズ株式会社 当社の議決権比率 67.5%  
JSU, Inc. 100.0%

上場証券取引所  
東京証券取引所第二部  
(証券コード : 4832)

## 経営体制

(2012年6月26日現在)

### 取締役

代表取締役社長 菊川 裕 幸  
取締役 堀田 善 一  
取締役 渡部 尚 史  
取締役 山本 崇 博  
取締役 宮原 一 昭  
取締役 福村 聡  
取締役 上條 巧  
取締役 北山 直 人  
取締役 都築 正 行

※ 取締役北山直人および都築正行の両氏は社外取締役であります。

### 監査役

常勤監査役 杉 充  
常勤監査役 深川 均  
監査役 岡井 哲  
監査役 原田 敬 太

※ 監査役深川均および岡井哲の両氏は社外監査役であります。

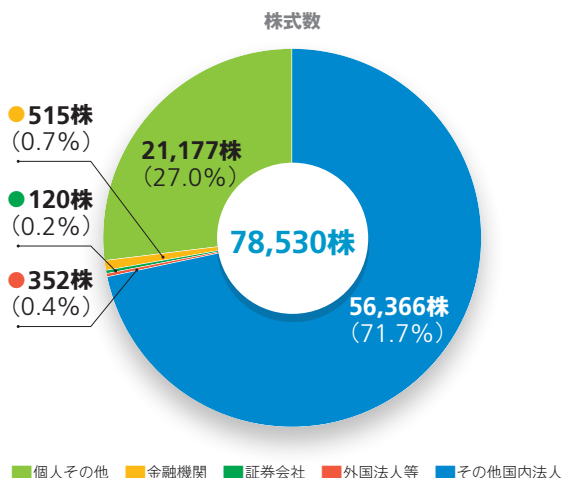
### 執行役員

社長(CEO) 菊川 裕 幸  
専務執行役員 堀田 善 一  
常務執行役員 渡部 尚 史  
常務執行役員 山本 崇 博  
常務執行役員 宮原 一 昭  
常務執行役員 福村 聡  
常務執行役員 上條 巧  
執行役員 金藤 秀 司  
執行役員 佐々木 富 雄  
執行役員 柏原 大 造  
執行役員 國安 誠

## 株式の状況

発行可能株式総数 338,050株  
発行済株式総数 78,530株  
株主数 1,910名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数	持株比率
JFEスチール株式会社	51,165株	65.2%
JFEシステムズ社員持株会	6,637株	8.5%
富士通株式会社	2,500株	3.2%
アトラス情報サービス株式会社	500株	0.6%
JFEアドバンテック株式会社	500株	0.6%
JFE電制株式会社	500株	0.6%
JFEメカニカル株式会社	500株	0.6%
中央三井信託銀行株式会社	500株	0.6%
JFE物流株式会社	500株	0.6%

## 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月下旬
- 基準日** 株主総会：期末配当は毎年3月31日  
中間配当を行う場合は9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先)** 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- 公告方法** 電子公告  
<http://www.jfe-systems.com/ir/houtei.html>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引所** 東京証券取引所第二部

## お知らせ

### ●住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申付けください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。

### ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申付けください。

### ●「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
\*確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

**ご注意** 本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知お祈いします。

## ホームページのご案内

当社のホームページでは、投資家のみなさま向けの「IR情報」をはじめ、最新のニュースをお知らせする「What's New」、お客様の導入実績をご紹介する「実績紹介」、当社のおすすめ商品「原価管理システム」「電子帳票ソリューション」「食品ソリューション」他のラインアップなど、さまざまな情報を公開しています。



<http://www.jfe-systems.com/>